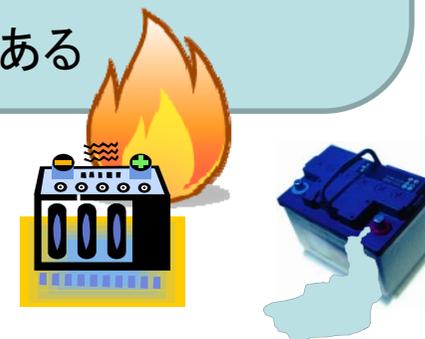
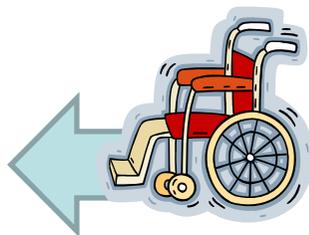




電動車椅子で航空機を御利用される場合のルールについて

電動車椅子は、陸上において通常使用する場合にあっては、何ら危険性を有するものではありませんが、航空輸送を行う場合にあっては、大きな気圧や温度変化または継続的な振動を受けることにより以下の危険性を生じる可能性があります。

- 輸送中の振動などにより、電源が入り動き出す可能性がある
- 輸送中の気圧や温度の変化などにより、蓄電池内にある硫酸等の電解液が漏れ出す可能性がある
- 輸送中の衝撃などにより、蓄電池が発火する可能性がある



このため、国際規則および国内規則では、電動車椅子を航空機で安全に輸送するためのルールが定められています。

我が国における電動車椅子に係る基準概要 (2)

電動車椅子または 電動歩行補助車

電動車椅子



簡易型電動車椅子



電動歩行補助車



バッテリーの種類	受託要件	バッテリーの積載位置
<p>非防漏型蓄電池</p>  <p>※乗用車などに使用されている一般的な液体バッテリー。横にすると電解液が漏れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貨物室に直立で積載出来ること ・ 直立で積載できない場合はバッテリーを取り外すこと 	<p>貨物室</p> <p>(預かり手荷物)</p>
<p>防漏型蓄電池 ニッケル水素バッテリー</p>  <p>※完全に密封された液体バッテリー。横にしても電解液は漏れない。</p> <p>※乾式バッテリー。約7割の車椅子に使用されている。他にはマンガンバッテリーも含まれる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄電池が容易(ワンタッチ式等)に外せる設計となっているものは蓄電池を取り外すこと。 	<p>貨物室</p> <p>(預かり手荷物)</p>
<p>リチウムイオン電池</p>  <p>※一部の車椅子に使用されている。裏面などの表示部に「Li-ion」および電力量(Wh)の表示がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蓄電池が容易(ワンタッチ式等)に外せる設計となっているものは蓄電池を取り外すこと。 ・ 外された電池及び予備電池は300Wh以下であること ・ 予備電池は1個まで(160Wh以下の場合)は2個まで) 	<p>旅客室</p> <p>(機内持込手荷物)</p>

電動車椅子に係る確認フローの一例

